

令和2年8月 日

姫路市・西播介護サービス事業者連絡協議会
会長 田上 龍太郎

新型コロナウイルス感染症に関する声明

新型コロナウイルス感染症の拡大の中で、医療・介護の連携を確認し、姫路市・西播介護サービス事業者連絡協議会として姫路市・兵庫県・国への提言を表明します。

1. 姫路市・西播介護サービス事業者連絡協議会の役割と課題

姫路市・西播介護サービス事業者連絡協議会は、姫路市・西播中心に約 500 事業所（内訳法人数 87 法人：医療・病院 31、社会福祉法人 22、株式会社など 34）の事業者が加入しています。

私たちは、地域において協力・連携をして、この度の突発的に生じた新型コロナウイルス感染症の拡大の下、感染及び蔓延の防止に努め、少なくかつ不安定な情報の中であっても、人々の命と人権擁護を使命として働いています。事業者の混乱や困難を具体的に現況把握及び共有をし、運営の継続に関わるリスクを想定して行政に示し、公的な対策の推進を求めるとともに、組織内外での支え合いを推進したいと考えています。

2. 新型コロナウイルス感染症の拡大が及ぼした影響に対する支援の必要性

2020 年 6 月の会員事業所調査において、回答の多い順に以下の支援の必要性が明らかになりました。

- ①感染防御資材の優先調達
- ②発熱・咳等の症状がある利用者・入所者等及び職員への積極的な検査の実施
- ③感染者等発生時の陽性者の速やかな入院
- ④職員への特別手当（危険手当を含む）の支給
- ⑤感染者等発生時の指針策定
- ⑥風評被害への対応
- ⑦感染者等発生時の介護職等の応援要員の確保
- ⑧感染者等発生時の利用者・入所者等の受入施設の確保

3. 姫路市・兵庫県・国に要望すること

調査の結果、事業所は、収入減少（6割超）などから上記に掲げる支援を求めています。この事態に際しても、感染リスクの高い高齢者や基礎疾患を有する人々をどう守るかが課題です。

すでに対策が立てられようとしているものもありますが、今後さらに構築していかなければならない課題が満載です。

その上、姫路市では 2012 年に地域区分が、兵庫県下で唯一下方修正（現在 3%）されました。そのため、揺るぎやすい経営状態が継続し、財政的に逼迫した事業所の割合が高い地域となっています。このままであれば、公的役割を担う多くの事業者が人的・経営的困難を極めることが明らかです。姫路市・兵庫県・国に対して、私たちが社会的役割をさらに発揮できる方向へと政策的・財政的なリードを求めます。

本会は、引き続き新型コロナウイルス感染症の危機にある全ての当事者と医療・介護従事者を守るための声を揚げていく所存です。